

基本目標 I 創造する力と生きる力、感性豊かな子どもを育む

I-1. 就学前の子どもたちが文化に触れる機会の重点的な創出

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体			協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他							市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)
1	4	子育て施設課	人形劇の実施	I-1							各所で活動している人形劇団による、保育所11園での人形劇鑑賞。演目は「おひさま劇場」から2題で、文化性の高い内容のもの。各保育所等で上演することで、子どもたちに鑑賞機会を提供する。	・行事と重ならないように実施時期の調整が必要。 ・実施劇団の選定。	就学前の子どもたちが文化に触れる機会の提供継続に努める。											人形劇団クラレテ	1,089		子どもたちに生のお話を肌で感じてもらえるよい機会である。事業の運営に関しては、庶務部会にて協議しながら協働団体と内容等を決めている。	A				
2	4	文化国際課	きしわだアートプロジェクト 就学前児童へのアウトリーチ事業	I-1	I-2						アウトリーチ事業として、就学前の幼児が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。演劇の表現者が、子ども達の豊かな想像力を引き出し、アートに触れる感動や喜びを体感してもらう。令和4年度は「はだかの王様と服づくり」をテーマに、感染症対策を考慮し、楽器の共有時には消毒を心掛けたワークショップ事業を実施した。幼稚園2園で2日間の開催(参加者人数:60人)	感染症の対策に慣れてきた時期に、少しずつ人と人の交流、子ども達と芸術のふれあいを増やしていくために、安全に進めるよう工夫した企画が必要。	就学前児童の豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供していく。											毛帽子事務所	431		コロナ禍で、人との交流が少なく、子供たちの成長への影響を心配していた保育現場に非常に喜ばれた。感染症対策も考慮した企画で事業展開でき、子ども達の楽しそうな顔が見られたのは良かった。	A				
3	4	図書館	読書活動事業	I-1	I-3	I-4					4か月児を対象に、絵本や子育てに関する情報をブックスタートセットとして1,248人に配付した。市内各図書館において、お話し会107回、工作等の祝日おたのしみ会30回、科学実験教室2回等、子ども向け行事を計179回開催した。	日本語を母国語としない利用者に対して、選書を検討する。今後、関係課とも協議をしながら、図書館内のLLコーナー(やさしい日本語で書かれた本)の充実と外国語の絵本の充実及びレファレンス強化を図る。	子どもが読書に親しみきっかけとなるよう、今後もブックスタート事業、団体貸出サービス、市内小学校へのお話配達、市内各図書館におけるお話し会等及び図書館の蔵書構成等を見直し検討していく。										健康推進課、子育て施設課	1,415		乳幼児おはなし会「だっこでおはなし会」について、本館、桜台図書館で年間定期的に開催し参加者にも好評で図書館への利用促進に繋がっている。ボランティアグループ「だっこ」では、保健センターでの「ババママ教室」において、読み聞かせの方法やおはなし会等を開催し、子を持つ親に向けての読書推進に繋がっている。	A					

I-2. 子どもたちに対する文化プログラムの充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体			協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他							市(担当課以外の課名)	他団体(団体名等)
4	4	学校教育課	地域教育支援活動事業	I-2							平日の放課後の時間や土曜日に子どもの居場所づくりを目的に各教室が計画した特色ある様々な活動(学習活動・スポーツ活動・工作活動・園芸活動など)をボランティアである指導員が中心となり実施した。	ボランティアである指導員の減少に伴い、教室の維持が難しいため、指導員の確保が課題となっている。	ボランティアである指導員の確保を行い、教室の充実(実施内容・数)を図っていく。											てんてん天神山子ども教室、城北公民館スクール、八木っ子クラブ、修斉放課後子ども教室、わくわく教室山北、みんなの居場所ここにこ光明	952		事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら問題点や改善点を共有している。コロナ禍による活動制限がある中、コロナ感染の対策をとりながら実施できる方法を模索中	B				
5	4	生涯学習課	子どもの居場所教室	I-2							子どもたちが余暇に、文化活動を通じて、仲間づくりと併せて友情を育み、豊かな心を養うことを目的とした。市立公民館で、長期の休み以外の毎週土曜日に2時間程度開講。ジュニアオーケストラ(40回)、陶芸(34回)、剣道(39回)実施。	特になし	子ども一人ひとりに感受性や社会性が身につけていると感じられるような教室を目指す。											剣道は心技会へ委託	1,128		学校外で継続的に取り組める文化活動の機会として重要である。また、異年齢交流の中で、人への思いやりやコミュニケーション力が培われている。	A				
6	4	生涯学習課	公民館親子文庫事業	I-2	I-3						読書を通し市民同士がふれあいを深める場とするともに公民館活動の振興、充実を図るため、図書の貸し出し、整理、読書指導、おはなし会、お楽しみ会等を行っている。光陽おやこ文庫(20回158人)、城北おやこ文庫いずみの会(42回294人)、光明とんぼ文庫(46回850人)、新条文庫なかよし(49回796人)に委託し実施している。	・参加者の減少 ・後継者不足 ・周知不足 ・本の選定	実施場所である公民館、近隣の小学校、保育園、保育所と連携を取りながら、文庫活動の活性化を図る。地域にも周知をはかり、利用しやすい環境を作る。											各文庫に委託	210		31年度から年1回の交流会を文庫活動のある地区館で開催。直接他の文庫の様子を見ていただく良い機会となっている。令和4年度についてはイベントの実施等により利用者が増えている。また、小学校と連携しお話し会をすることによって、文庫活動の周知を図っている。	A				
7	4	図書館	自動車文庫事業	I-2	I-3						図書館から距離のある地域に10ステーションを設け、移動図書館車で出向き、資料の貸出し、返却等の業務を行っている。また、蔵書の限られたチビッコホーム42か所、幼稚園13か所・保育所等12か所には年3回配本を行い、その充実を図っている。	ステーションの中には利用の少ないところがある。移動図書館車両の老朽化。	自動車文庫事業の維持や継続も含め、今後の自動車文庫のあり方を検討する必要がある。												17,209		令和5年度中に、自動車文庫(なかよし号)の今後のあり方について、図書館へ来館が困難な人へのサービスや子どもへの読書推進に繋がるサービスを関係課や学校等へ調査を行い、方向性を見極める。	A				

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続				
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)			
8	4	桜台市民センター	学級講座等運営事業	I-2	II-1	II-7	○	○	○	○	市民相互の結びつきと自主的な活動を支援するため、定期(6講座)、短期(7講座)、家庭教育学級(2学級)、女性学級及び高齢者大学を開設・運営した。また、公民館開館日に空き講座室を利用して自習室を開放した。	魅力ある学級講座運営	自主的な学習活動の支援継続、魅力ある学級講座の運営、現代的課題の解決につながる事業運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	893		自主的な学習活動の意欲を高め、いくための支援や、魅力ある学級講座等の開催を計画実施した。また、公民館活動団体と協働し、「公民館まつり」を開催することで自主運営・文化活動の充実につながった。	A		○
9	4	春木市民センター	学級講座等運営事業(学級・講座)	I-2	II-1	II-7	○	○	○	市主催の定期講座・単発講座(親子対象講座、岸和田鳥さんぼ、バレンタインコンサート等)・女性学級を開催し生涯学習の機会と場を提供している。	限られた予算で、より多くの世代や市民に公民館を利用してもらうための事業を検討する。	講座内容については、利用者のニーズに添った企画を検討するとともに、地域の特性を活かした事業を展開する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1,153		各種講座については、コロナ禍の影響を考慮しつつ、利用者層の拡大につながる工夫や取り組みが必要と思われる。	B		○		
10	4	春木市民センター	学級講座等運営事業(公民館まつり)	I-2	II-1	II-7	○	○	○	令和4年度は、公民館分館まつりを、クラブ員による実行委員会形式で3年ぶりに開催した。日常のクラブ活動において、クラブ員の自主性や参画意識を高め、地域住民へは、公民館活動の理解を深めることにより、地域における文化交流、仲間づくりをすることができた。	①実行委員会が運営する力を高める②参加者(各クラブ)の自主的な参画意欲を高める	令和5年度も昨年度に引き続き、実行委員会形式で実施予定である。今後、実行委員会の企画力・運営力を高め、行政主導から市民主導へとシフトしていくことで、各クラブ活動の本音である自主運営・文化活動の充実・発展、地域コミュニティの醸成につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	48		公民館まつりの開催は前回に引き続き、実行委員会形式にて取り組む予定であった。今後、コロナ禍でも実施できる方法を検討するとともに、参加者の意識を高め、実行委員会の組織体制(しくみづくり)を定着させていくことで、事業実施の安定を図る。	B		○		
11	4	文化国際課	アートマルシェ	I-2	II-6	IV-1	○	○	○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。8月と3月に開催。8月は子ども向け、3月は大人向けといったように、毎回講座内容を変えて実施。(参加者8月141名、3月107名)	講座によって申込み状況にばらつきあり。コロナ禍でも安心して参加できて、パラエティーに富んだ講座の充実。乳児・障害児も参加しやすい講座の設定。	文化芸術に触れるきっかけとする事業で、多様なプログラムの充実を図っていく。マンネリ化を防ぐため新たな分野のワークショップを開拓したい。また、プロの芸術を身近に触れる機会も作りたい。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2		依然コロナ禍で、まったく制限なしにはできず集客も難しかったが、年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。感染症対策をとり、無事に終えることができた。	B		○		
12	4	生涯学習課	学級講座等運営事業(市立・大宮)	I-2	II-7		○	○	○	自主的なグループ活動の育成や学習課題の啓発・学習機会の提供を目的とし、定期講座及び短期講座をおこなった。市立公民館では定期講座「科学実験教室」(延べ199人)、「大人の塗り絵」(延べ78人)等、短期講座では「EARLY SPRING CONCERT」(67人)、「芸術はバクハツだっ!夏休み子ども陶芸教室」(16人)、「親子で創ろう!苔テラリウム」(48人)、「親子で作ろう!バルーンアート」(20人)、「感謝を伝えるギフトを作ろう!フラワーバルーン講座」(10人)等を実施した。また音レコサロンを実施し、延べ214人の参加があった。大宮地区公民館では定期講座として「おりがみdeコミュニケーション」(延べ82人)、「子ども書道」(延べ260人)、「初心者ウクレレ」(延べ115人)等を実施した。	・来館しづらい世代への講座・講座の周知方法の検討(SNSによる情報発信)	各世代に応じた講座を企画し、公民館活動への参加を促す。また市民自らが学習する機会を提供する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2,151		中高生などの来館しづらい世代への講座を企画・実施した。また、親子対象講座やコンサートなど多くの方に来館いただけるような講座を実施した。	A		○

I-3. 小中学校などの学校教育機関における文化事業の推進・充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続				
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)			
13	4	学校教育課	読書活動事業	I-3			○			小中学校における読書活動をさらに推進し、児童生徒の読書意欲、読書週間を形成することや、読書活動の企画や立案、読書活動への支援や相談、学習に関する資料の提供、提案を行う学校司書の派遣。(小学校週2回、中学校週1回)	派遣された学校司書と学校の図書館担当をうまくつなげ、子どもの読書推進をいかに充実させていくかが課題。	中学校を週1回の派遣から増やして充実させていきたい。また、図書館業務を円滑に進め、活用状況を把握・分析できるシステムの導入を検討したい。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19,219		子どもへの読書活動の推進のため、充実に向けているが、人材の確保が難しいことや限られた予算の中で読書推進の工夫を行っていく必要がある。	A		○		
14	4	学校教育課	幼・小・中学校所属児童作品展示	I-3			○	○		市立幼稚園、小学校、中学校、高校に所属している児童・生徒の作品等を、市役所の廊下にQRコードと合わせて掲示。HPIにも掲載している。	掲示場所が旧館の階段にあるため、目立ちにくい	保護者を含む市民の方々に広く知っていただけるための活動の推進(庁内電光掲示板へのメッセージ添付)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	4	選挙管理委員会	選挙常時啓発事業 啓発ポスター募集	I-3			○			岸和田市内の小・中学校及び産業高校に対し、明るい選挙啓発ポスターの作品募集を行い、応募作品については市HPに掲載した。【浜小学校28点、久米田中学校20点、桜台中学校4点、土生中学校4点】	岸和田市内の各学校に依頼をしているが、参加する学校に偏りがある。	今後も継続して事業を行い、明るい選挙に向けた啓発を進める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	58		毎年多数の応募があり、明るい選挙について推し進めることができている。	A		○	
16	4	人権教育課	人権教育・人権啓発事業	I-3			○			人権を守る作品展、巡回人権を守る児童・生徒作品展、いじめ問題啓発児童・生徒作品展	子どもたちの人権意識の育成を図る	子どもたちの人権意識の育成とともに、児童・生徒等によるポスターや標語を展示する「人権を守る作品展」などによる啓発を充実させます。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	580		1,000人以上の市民が、児童生徒の作品や人権の取組に関するパネルやポスター等を鑑賞。参加者から児童生徒の作品について大変好評を得ている。	S		○		

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続										
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)									
17	4	産業高校デザイン科	I-3								岸和田市立産業高等学校全学科の取組みを紹介するとともに、令和4年度卒業のデザインシステム科生徒による卒業制作作品展示及び舞台発表(ファッションショー)を実施。3年間の学びの集大成としてクラス統一テーマを掲げて作品制作を行い、企画・広報・運営など生徒主体で取り組んだ。在籍生徒、家族をはじめ、広く社会に向けて鑑賞の場として提供している。	感染症予防のため、舞台発表は予約制の座席指定、規制入退場をお願いした。感染症が落ち着いたこともあり、大きな混乱は見られなかった。	生徒の意欲や作品の精度は年々向上している。令和4年度は学校関係者以外にも多くご来場頂いた。生徒が3年間で身に付けたデザインに関する知識や技術を表現する集大成の場として感動ある作品展にしたい。	○	○	○																						S			○
★ 18	4	学校教育課	I-3								本市の未来を担う児童生徒が、本市の歴史や未来に思いを馳せながら絵画作品の作成に取り組み、優秀作品について、市立文化会館での展示を行った。	令和4年度のみ実施	令和4年度のみ実施	○	○	○							企画課			1,030								A			○				
19	4	人権教育課	I-3	II-2							各小中学校の支援学級在籍の児童生徒が、普段の学習の成果を発表したり、個々に応じた目標の達成を図ったりする。	各校の担当教員同士の綿密な打ち合わせや引き継ぎ	児童生徒の日々の学習発表の場として、今後も継続して実施していきます。	○	○	○							泉南地区支援教育研究会			589								S			○				

I-5. 子どもたちの文化活動への育成・支援

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続										
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)									
20	4	文化国際課	I-5								小・中学校のクラブ活動団体が、コンクールに参加する場合、本番に近い環境を経験することで、日常の練習の成果が本番に活かされるようホールの使用を提供する。平成25年度より実施している。コロナ禍で変更や中止になるコンクールが多かったが徐々に戻り、令和4年度利用団体数は2、利用件数は5。	事業の対象がはっきりしているため、通知文を送付し、周知に努めているが、各校の関係者ほどの程度周知されているか不明。	コンクールに挑戦する団体が、この事業を活用し、本番で日頃の成果を発揮されたい。																								A			○	
★ 21	4	文化国際課	I-5	IV-1							3つの育成団体(合唱・吹奏楽・演劇)の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、指導者への謝礼を支払う。また、定期発表の場を設け、日常の成果を市民に還元するための公演を実施している。	団体が安定的に活動をしていくためには、一定数の団員数が必要。	各団体の活動が、当課の活動をこえて、市内の各所で展開できるように、団体の存在や活動を広く知ってもらおう。	○	○	○	○								岸和田市少年少女合唱団、岸和田市音楽団、マドカドラマスクール			1,440										A			○

I-6. 国際交流の推進

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続							
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)						
22	4	文化国際課	I-6								令和4年度は、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市(SSF)からの青少年を受入れをする年であったが、コロナ感染拡大に伴い、中止を決定。	両市含め青少年が本市の魅力をいかに伝えるかをテーマに、事業を企画する際の仕組みづくり。	青少年である若い世代の切り口で、姉妹都市から来岸した青少年に本市の魅力を伝え広めていく。										学校教育課・岸和田市立産業高等学校	岸和田東ロータリークラブ			2,206								C			○
23	4	産業高校学務課	I-6								コロナ感染症終結のめども立たないため、姉妹校交流を中止。	コロナの影響で3年間中止になったため、希望していた生徒が交流できず卒業になった。	継続													1,188								C			○	

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)
32	4	生涯学習課	公民館まつり事業	II-1	I-2	II-5					公民館を利用するクラブ員や、定期講座生・家庭教育学級生などが、普段の学習や練習の成果を発表・展示する場とするともに、参加者同志の交流・連携を図り、公民館を広く市民に理解してもらうことを目的として地域イベントとして実施。公民館利用者の増加にもつなげたい。	公民館利用者の高齢化等の理由から、役員の担い手や登録団体の減少が課題である。	実行委員会形式で当該が事務局となり協働して開催していく。	○	○	○	○							公民館まつり実行委員会		15		市立は3年ぶりに公民館まつりを実施。各クラブ員等の日頃の学習や練習の成果の発表・展示の場となった。以前は2日開催としていたが、クラブ数の減少に伴い1日開催としたが、市民の方にも公民館の活動について知ってもらえる機会となった。	A		○
33	4	生涯学習課	フレンドシップコンサート事業	II-1	I-5		○			青少年音楽団体の研鑽と交流を図り、地域の音楽活動を推進するとともに、青少年文化の向上を図ることを目的とし、6月に浪切ホールにて開催している。参加団体(市内の学校や青少年による吹奏楽・合唱グループ等)で構成する実行委員会が企画・運営を行っている。14団体が参加。	実行委員会による自主的、主体的な企画・運営を目指しているが、団体の役割分担の調整が必要。	より一層、参加団体が主体となり、企画・運営ができるようにしていく。	○	○	○	○							フレンドシップコンサート実行委員会		576		実行委員会形式で運営することにより、青少年と成人それぞれの活動団体の交流となり、青少年にとっては、未来の活動の支えとなっている。	A		○	
34	4	文化国際課	マドカ合唱祭	II-1	II-5		○			市内各所で活動している合唱の団体に、発表の場を提供するとともに他団体との交流を促進し、合唱活動を盛んにすることを目的として開催している。令和4年度は、一般の個人も参加できるオープニング合唱と、エンディング合唱は中止したが、感染対策を講じ3年ぶりに開催した。(参加16団体、346名)	事業のPR、観客マナーの向上、出演者の高齢化への対応。7月下旬開催のため、暑さ対策が課題。台風など自然災害時のシミュレーションが必要。	事業の内容を工夫、充実していき、合唱祭の活性化を図る。	○	○	○	○							マドカ合唱祭実行委員会		130		事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B		○	
35	4	人権・男女共同参画課	男女共同参画センター・大宮地区公民館合同まつり事業	II-1	II-5	II-6	○	○		男女共同参画センター、大宮地区公民館で活動するグループ間の交流、活動発表、及び地域住民との交流を図ることを目的に11/19・11/20に開催。来場者は合計1,395名。	これまで、男女共同参画センター、大宮地区公民館に来館されたことのない方に、おいていただくための工夫が必要である。	事業の内容を工夫し、より多くの方に参加いただけるようPR方法を工夫し、地域を含めた館の活性化を図る。	○	○	○	○						大宮地区市民協議会		47		普段、センターにあまり来られない子育て世帯などにも多く来ていただき、センターの周知ができた。また、男女共同参画登録グループ、大宮地区公民館登録クラブの交流の場にもなった。	A		○		

II-2. 高齢者、障害者等の文化活動の充実

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						
★ 36	4	障害者支援課	地域生活支援事業(ふれあい作品展)	II-2			○	○		障害者週間において、障害児(者)の作品を展示する作品展を開催し、障害児(者)への理解を市民に広めるとともに、障害児(者)の社会参加の機会を広げることが目的としている。参加者(出品者)数…(児)900人、(者)9人	休日に開催してほしいとの要望がある。	作品展等は、例年通り実施予定とする。(新型コロナウイルスの新たな変異株出現等により国府の要請があれば開催方法の変更或いは中止を検討する。)休日開催の要望については今後検討していく。	○	○	○	○							(作品を出品する)市内小・中学校、支援学校		273		作品展は本課が企画・運営しており、展示の際は本課職員、出展学校の職員や出展する障害者が協力し、円滑に展示できている。	A		○
37	4	図書館	障害者サービス事業	II-2				○		毎月、岸視協だよりに掲載していただく「点字図書・録音図書貸出状況」の原稿作成、年に4回、声の新着図書案内の原稿作成(制作・配布は、朗読ボランティアひばりの協力で、岸和田市視覚障害者協会に委託)。録音図書(制作は朗読ボランティアひばりに委託)製作依頼、予約、取寄、貸出、国立国会図書館視覚障害者専用送信サービスへの提供、宅配、対面朗読。	必要としている方への周知	必要としている方へ利用できる形での資料の提供	○	○	○	○						社会福祉協議会	岸視協、点訳ボランティア、朗読ボランティア、点訳友の会キツキ、点訳グループ灯り、点訳ボランティアグループルミエール		335		宅配サービスに、高齢者で図書館来館が難しい方にも利用してもらえるようになった。	A		○
38	4	福祉政策課	介護予防事業【高齢者趣味の作品展事業】	II-2	II-7			○		高齢者(岸和田市内に在住する概ね60歳以上の者)の豊かな経験と知識を活かし、生きがいや文化水準の向上、社会参加の促進を図るため、趣味の作品(短歌、俳句、川柳、俳画、書、陶芸、写真、絵画、手芸)を募集し、11月8日～10日の3日間、南海浪切ホールにて展示を行っている。	限られた予算での事業のため、展示会場の設営準備作業等を外注できず、苦慮している。	更なる世代間交流(特に若い世代)を図れるよう、事業内容を工夫、充実していく。	○	○	○	○								450		幅広く認知された事業であり、継続していくことが必要。	A		○	
39	4	福祉政策課	介護予防事業【生きがいと健康づくり推進事業】	II-2	II-7			○		高齢者(市労連に加入する単位老人クラブを対象)の社会活動や地域活動、スポーツ・文化・娯楽活動等の健康増進活動の促進を図っている。	趣味の多様化のため、一部では、限定された参加者での活動となっている。	主体的に活動する人員への支援、育成及び世代間交流を図る。	○	○	○	○					市老連及び単位老人クラブ		2,458	502	コロナ禍のなか、感染拡大防止のため一部活動中止となる影響もあったが、各単位老人クラブにおいて創意工夫を図り実施している。	A		○		

II-3. 国内外の演奏家や芸術家による演奏会や展覧会の開催

★	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続				
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)			
	40	4 文化国際課	塩田千春展	II-3								○	自泉会館を会場に、岸和田市出身で世界的に活躍している塩田千春氏の個展を開催。ホールでは、赤い糸を使った大規模なインスタレーションを、展示室では小品の他、塩田氏の活動を紹介するパネルや、制作時の映像などを流し、建物全体を使った展覧会を開催した。また、観光交流センターを会場に、若手アーティストによる市民向けの関連ワークショップを開催し、現代アートに接する機会が少ない方達にも、気軽に楽しんでもらう場を設けた。	駅からの道に案内板等を設置していなかったため、迷われる方がいた。	岸和田出身など、本市にゆかりのある方々のイベントを企画していきたい。															11,818		展覧会の作品制作にあたって、本市ゆかりの若手アーティストや、市立中学校・高校の美術講師に参加してもらうなど、貴重な体験を提供した。また、展覧会の運営スタッフを市民から募集し、案内から誘導、簡単な説明などに携わってもらった。日本を代表する現代アート作家の一人である塩田氏とコラボすることにより、来場者から作品とともに建物も素晴らしいとの高評価を得ることができ、自泉会館の周知、魅力発信にもつながった。	A		○	
	41	4 文化国際課	文化の日祝典	II-3	IV-2							○	11月3日文化の日に、本市の文化教育の振興に貢献した方々の功績をたたえ、祝典を開催。1部では功績のあった方々への表彰式、2部では関係者以外も鑑賞できる記念コンサート「時代を楽しむ音楽会 古典派編」を開催。1部出席者数343人、2部入場者数130人。	祝典を広く周知するため、幅広い方々に関心を持ってもらえるような記念事業の企画が必要。	今年度は3年ぶりに市展を開催することができ、入場者が増え、以前とほとんど変わらない状態の祝典を開催することができた。若い方の表彰も増えてきており、熟年の方との文化交流も活発になればよい。また、「文化の日」にふさわしい事業を企画し実施していくことで、文化の推進に寄与していく。																356		2部では、泉州にゆかりのあるピアニストの演奏を中心にナビゲーターが曲を解説する音楽会を実施し、多くの市民に楽しんでいただくことができた。	A		○

II-4. 文化団体への支援

★	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)		
	42	4 文化国際課	文化団体支援事業	II-4								○	特定のジャンルに限らずに包括的な取り組みをしている岸和田市文化協会、岸和田文化事業協会の活動を支援し、多くの市民が参加できる取り組みを協同して推進している。	各文化団体会員の高齢化が進んでいるため、後継者となる若い世代の育成が必要	各文化団体の特色を生かした活動を今後も継続し、団体の活動内容を広く知ってもらう。															2,410		団体活動の一部を支援できた。	A		○

II-5. 文化事業への市民参画

★	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続							
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)						
	43	4 文化国際課	文化事業への市民参画	II-5									○	広く市民が事業に参画できる文化事業の実施として、文化祭事業やマドリ合唱歌などがある。また、アウトリーチ事業では実施前・実施後に子どもの所属先関係者と対話を通じて、より丁寧な事業の実施を行っている。	参画の内容を適宜見直し、ブラッシュアップに努める。	今後も事業の内容により、参加者が参画できる事業立案をすることにより、文化事業が活性化、また市民の交流の場となるよう努める。																							

II-6. 文化交流の促進

★	年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続											
																創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)										
	44	4 図書館	ブックフェスタ事業	II-6	III-5							○	○	○	○	まちライブラリー、公共図書館、書店など「本がある場所(ブックスポット)」が協力し、それぞれの場所と本にまつわるイベントを開催する。岸和田ブックフェスタ 15企画 300名参加	特になし	図書館に限らず、今後も他の施設や地域でも開催し、相互にゆるやかな交流を深められるような展開を目指す。																									

基本目標Ⅲ まちの魅力を高める

Ⅲ-1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続		
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)	
53	4 観光課	城周辺整備計画推進事業	III-1								石畳と淡い街灯まちづくり支援事業により整備された岸和田城周辺地区において、お城まつりなどのソフト事業を実施することで、交流人口の増加による賑わいの創出に取り組んだ。	次期岸和田城周辺整備計画の策定	ソフト事業を継続実施するとともに、次期計画の策定については、市庁舎建替えの方向性がある程度見極められた段階で検討していく。											水とみどり課、郷土文化課	岸和田市観光振興協会		156	市庁舎建替えの方向性が示されたことにより、休止していた本計画も再開を検討する。	B				
★ 54	4 企画課	きしわだ地元川柳2022	III-1				○	○	○	○	「きしわだ地元自慢、地元あるある」をテーマに「きしわだ地元川柳2022」を募集し、全527点の作品の中から、入選作品6点を決定した。	テーマ選定	実施の可否は企業との協議による。	○									広報広聴課	第一生命保険株式会社堺支社			企業のノウハウを生かし、市民参加による地域の魅力発信に取り組むことができた。	S	○				
55	4 丘陵地区整備課	お茶畑再生プロジェクト事業	III-1	I-3			○				内畑町にてかつて栽培されていたお茶畑を地元の小学生(山滝小学校)とよみがえらせるプロジェクト。(㈱伊藤園を講師に迎え、1年生はお茶についての講義を受けチャノキを鉢に植える。2年生は鉢植えからお茶畑へ移植する。6年生は茶葉の加工を体験する。	お茶畑の管理及び拡充。	本プロジェクトを引き続き行いながら、関係団体と協議し、内容について工夫していく。												276	コロナ感染対策を行い、事業を完了した。かつて地元で行われていたお茶の文化に触れる機会として貢献した。	A						
★ 56	4 郷土文化課	郷土資料等展示事業	III-1	III-2						○	岸和田城展示室において、郷土の歴史・文化を主テーマとした展示を実施。常設展に加えて、年3回の企画展を開催。また、市制施行100周年記念事業として、特別展「岸和田と岡部家」を開催し、図録を刊行。	展示内容の充実化	来場者に対して本市の歴史・文化を紹介することで、文化財を通じて本市の魅力を周知し、郷土愛を育む活動を行う。													6,837	来場者の増加のために、理解しやすい説明キャプションを作成する等、工夫を行った。また、事業の充実を図るため、より一層の周知をしていく必要がある。	A					
★ 57	4 郷土文化課	郷土文化普及事業	III-1	III-2						○	市制施行100周年記念事業として、冊子『岸和田市の文化財』を刊行。市指定天然記念物夜疑神社社に説明板を設置。身近な地域での講座等の拡大・充実。市民センターで地元で特化したパネル展の開催や小学校への出前授業を実施。当該所管資料のデータ化等。	設置した説明板の周知。身近な地域での講座等の拡大・充実。市民センターで地元で特化したパネル展の開催や小学校への出前授業を実施。当該所管資料のデータ化等。	身近な地域での講座開催や説明板を設置することにより、歴史文化財を周知し郷土愛を育む。資料の安定的な維持管理、活用の効率化を図る。	○	○	○											9,552	市民センターで当地域の文化財発掘に関するパネル展や歴史に関する出前講座を開催できたこと、また説明板を設置できたことは地域住民へ広く文化財を周知できた。データ化を実施し資料活用の効率化を図れた。	A				
58	4 郷土文化課	岸和田市地域文化財総合活用推進事業	III-1	III-2			○			○	令和4年度は、文化庁の地域文化財総合活用推進事業補助金の交付を受けて、市内32町のだんじり用具の修理を行った。	令和4年度については、コロナ対策もあり国補助金の交付額が、上限なしとなったため補助額ベースで約1億7000万円の事業を実施した。	事業団体から要望があれば今後も支援していく。									町会周知	応募のあった市内32町			事業団体への間接的な国費補助であるが、補助の結果、市への貢献は大きく、今後も継続していきたい。	B						
59	4 郷土文化課	文化財保存支援事業	III-1	III-2			○			○	主に、民俗文化財の継承、保存のための補助金の交付。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が2件中止となる。	後継者の育成	指定文化財が後世へより良い形で継承、保存していけるように、保存会並びに所有者への支援を継続していく。	○	○	○	○								158	今後も保存会、所有者との連携の強化、保護に努めたい。	B						
60	4 郷土文化課	濱田青陵賞事業	III-1	III-2						○	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席を半分に減らして有観客での授賞式・記念シンポジウムを行った。並行して、Youtubeでの動画配信を行い、自宅等での観覧を可能とした。動画再生回数は600回を超えるため、通常の有観客開催より多くの方にご覧いただくことができた。	事業の周知方法。	考古学の学術文化賞では最高位の賞であり「考古学の芥川賞」と呼ばれる賞として認知度、ネームバリューを活かした観客のさらなる裾野の拡大を目指す。	○	○	○	○			朝日新聞の紙面	朝日新聞大阪本社文化部				2,446	あたらしい開催形態を模索しており、有観客と並行して濱田青陵賞運営協議会でYoutubeチャンネルを開設し運営するなど、新しい開催形態を提示、運用できた。	A						
61	4 観光課	岸和田城管理事業	III-1	III-4						○	指定管理者の自主事業で風鈴飾りや犬走公開イベントを実施し、魅力を向上させることに取り組んだ。また、天守閣望楼においては、岸和田城ウエディングを周年実施している。	利用者が伸び悩んでいる。施設設備の老朽化が顕著である。	天守閣の耐震及び活用について、昨年度設置した委員会、今後の計画を策定する。													22,928	岸和田城は、本市のシンボルであり歴史・文化・観光の拠点として位置づけられており、関係機関とも連携し、岸和田城の付加価値を高める取り組みを行っていく必要がある。	B					

Ⅲ-2. 伝統行事の保存・継承

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)		
62	4 観光課	だんじり会館指定管理事業	III-2				○				ミニだんじり工作、彫り師による実演などだんじり文化をPRするイベントを実施。だんじり祭に関わる文化の発信に努めた。	入館者数の停滞 施設設備の老朽化	指定管理者と連携し、全国的に知名度のある「だんじり」という他にない資源を最大限に魅力発信し、年中通じて活用できるブランド化に取り組む。令和5年の開業30周年に向けてリニューアルを実施する。														58,805	指定管理者や祭礼団体と連携し、だんじり文化に関するワークショップや展示に引き続き取り組んでいく。	B					
63	4 観光課	だんじり祭支援事業	III-2							○	令和4年度だんじり祭は令和元年度依頼の通常開催となる中、コロナ対策を考慮した観光客の受入体制整備を行った。また、だんじり保存会への補助金を支出した。	観光客の一極集中化 ゴミ・トイレ・駐車場などの受け入れ環境の整備	観光客の受け入れ体制を整えるとともに、だんじり祭を側面・後方から支援することによって、明るく楽しい市民の祭りにしていく。	○	○	○	○											40,677	伝統的地域文化の継承を図るとともに、市民はもとより観光客に気持ち良く楽しい祭と感じてもらえるよう、関係団体とも連携し、祭の一層のブランド力の向上を目指す必要がある。	B				

Ⅲ-3. 自然環境や景観との調和

年度	担当課	事業名	基本目標・各方向性		0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続	
													創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)
64	4	丘陵地区整備課	岸和田グリーンビレッジ構想推進事業	III-3					本事業では都市・農・自然が融合したまちづくりを推進しており、事業の一環として丘陵地区に生息するフクロウをシンボルとして里山環境の再生保全を目的としてフクロウの森再生プロジェクトを実施している。自然エリアでは良好な里山環境の保全と創出を目指している。	広報活動の強化	継続してイベントを実施することにより、市民の自然への関心を高める。												ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会		491		イベントを通じて、取組みの趣旨を伝えることには一定の効果があった。今後は市主導の運営体制から協議会主体で取組みを進めてもらえるような組織体制の構築が必要。	A		○
★	65	4	環境保全課	環境保全事業	III-3				きしわだ環境フェア2022の開催。例年よりも規模を縮小させ、パネル展示と啓発物品配布の実施とした。市内で環境保全活動に取り組む団体等の活動内容などについてパネル展示を通じて市民等に知っていただく機会となった。参加者：387人(団体、職員含む)	これまでパネル展示や団体等のブース出展を行ってきたが、来場者は数百人程度にとどまり、高い啓発効果を見込めない状況で、数千人規模の参加が必要と考える。準備から運営までのすべてを市職員で行っているため、行政と参加団体等との関係づくりに十分な時間を割くことができない。	下記の3点をコンセプトとして、イベント内容の見直しを検討する。 ① カーボンニュートラルの普及啓発による脱炭素行動の促進 ② 子どもから高齢者まで、各世代の人が楽しめる ③ 市民・団体・事業者・行政が、互いにつながる事ができる場												大阪湾環境保全協議会 大津川水域水質保全対策協議会 神於山保全くらぶ シャープ社友会 チーム神於山 パナソニック株式会社 岸和田市消費生活研究会 岸和田市食生活改善推進協議会 きしわだ自然友の会			例年よりも規模を縮小させての実施であったこともあり、参加者数が少なかった。令和6年度以降は、業務委託を視野に入れ、大規模開催を検討する。	B		○	
66	4	環境保全課	自然環境保全事業	III-3					里山保全のボランティアに関心のある人に対し、里山及び里山保全活動に関する知識及び技術の基礎を講習することで、里山保全活動の担い手を育成した。申込者数 19人	講座申込者数のバラツキがある。広報きしわだ等の募集について工夫が必要である。	里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化を目指す。											NPO法人 神於山保全くらぶ		273		ほぼ計画どおり講座は開催された。引き続き事業を継続することで、里山保全活動の担い手が増え、活動の活性化が推進すると思われる。	A		○	
67	4	都市計画課	景観形成事業	III-3					住み良い文化的で潤いのある美しいまちを創出するため、岸和田らしい景観を保全形成を目指す啓発事業の取組の1つとして、ここに残る景観資源発掘プロジェクトを実施。令和4年度は、「歴史・文化景観」について、応募件数47件の中から、まちかど審査(市内8か所延べ661人)により11箇所を景観資源として指定し、PRを実施。また、過去に応募されたもので、当時の募集テーマにそぐわない等の理由により指定されなかったものの中から、特に地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するものを「特別編」として6件追加指定した。	発掘した資源を広く周知し、市民の景観に対する意識や地域への愛着の向上を図る。	様々な情報ツールを活用して、広報を強化するとともに、観光・教育や環境部局との連携を図り、幅広い年齢層への啓発を図っていきたい。									テレビ岸和田番組表(Vision)	各市民センター、図書館、産業高校学務課	和歌山大学、観光ボランティア協会、商工会議所、テレビ岸和田		1,321		ここに残る景観資源発掘プロジェクトは令和4年度で終了。今後はこれらの蓄積した景観資源を活用した啓発に努めたいと考えている。	A		○	
68	4	都市計画課	景観形成推進事業・公共サインガイドライン	III-3					市内で掲出されている公共サインの多くは、備えなければならない機能が不十分であり、景観にも大きな影響を及ぼすことから、公共サインのルールとなる岸和田市公共サインガイドラインを令和2年度に策定。本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うもので、庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行った。	公共サインを設置する際には景観に配慮したデザイン・数量・大きさとし、安全に配慮した定期的なメンテナンスを行うことが必要である。	本ガイドラインは各施設管理者が理解し運用を行うものであるため、今後も庁内及びその他の公共機関に呼びかけを行っていく。											公共サインを設置している課	岸和田市景観審議会、岸和田市環境デザイン委員会、大阪府			関係課から設置の計画段階で相談をいただき、ガイドラインに基づく設置と管理をしていただいている。	B		○	
69	4	都市計画課	歴史的景観保全支援事業(家屋修景助成)	III-3					住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区における家屋修景に対して支援を実施。	建築基準法の形態規制を遵守しつつ、本町の歴史的まちなみの特徴を備えた建築物に調和させることが困難な状況にある。	歴史的まちなみやこれと一体となり歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において家屋修景への支援を継続して行う。										歴史的町並み保全基金運営委員会		8,000		歴史的まちなみ保全地区において家屋修景を行うことにより、歴史的景観を形成している環境を保全し、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○		
★	70	4	郷土文化課	自然資料館普及・展示事業	III-3				身近な自然の多様性を学び、郷土の自然と自然保護への理解を深め、地球環境や自然科学についての関心を高めるため、野外観察会や室内講座、展示等の事業をコロナ前とほぼ同程度実施した。また、市制施行100周年記念事業として、岸和田の自然100年の変遷をふり返る特別展を開催した。	・学校園との連携強化 ・対面とオンラインを効果的に組み合わせた行事、出前授業等の継続 ・子育て支援等の社会的課題解決につながる取り組み	事業内容の質的向上および就学前児童向けプログラムの充実を継続し、自然環境や科学技術、博物館、SDGsに市民の関心を得るよう取り組む。									読売ファミリー、産経新聞、ここに新聞の紙面	図書館、生涯学習課及び地区公民館、青少年会館、市民センター、水とみどり課、丘陵地区整備課	近隣博物館あるいは関連の自主活動グループ、NPO大阪自然史センター、きしわだ自然友の会、共和海建(株)、(株)日立ハイテク、京都産業大学等		21,560	10,365	普及・展示事業はおおむね通常の実施状況に戻り、参加・来場者数もほぼコロナ前と同レベルに復活しつつある。出前授業も対面実施が主流となったが、事前打ち合わせ等では、引き続きオンラインも有効に活用した。	A		○	
71	4	廃棄物対策課	まちを美しくする市民運動推進事業	III-3	II-1	I-5			まちの美化、青少年の健全育成、緑の保全及び推進について標語・ポスターを募集。標語213点、ポスター233点の応募があり、標語20点、ポスター30点を入選作品とし、表彰及び展示を行った。	特段なし	市内各校から広く応募できるように工夫しながら、応募数が増えるようにしたい。										各学校に応募依頼文書を送付	まちを美しくする市民運動推進協議会		165		市内の各団体で組織されている協議会の取り組みが理解され、市民に広がることを期待するためには有意義な事業であると認識している。	A		○	

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						
72	4 都市計画課	歴史的景観保全支援事業(団体活動支援)	III-3	III-5							住みよい文化的で潤いのあるまちを実現するため、歴史的まちなみ保全地区において景観啓発に寄与する団体(本町のまちづくりを考える会)の活動に対して支援を実施。考える会は様々な活動を行っているが、令和4年度は、地区内に犬矢来を4基新調する板塀プロジェクトや、まちづくりの館で季節に合わせた手作りの飾り付けを行う歳時記プロジェクトを実施した。	支援している団体における役員の高齢化が進んでおり、世代交代を模索している。	自主運営を基本としつつも、担い手育成や世代交代に関する情報を収集するなど、きめ細やかな情報提供を実施すべき。	○	○	○	○	○	○	○	○		本町のまちづくりを考える会、歴史的町並み保全基金運営委員会	100		対象団体の支援を実施することにより、歴史的まちなみ保全地区における景観啓発が実施され、住みよい文化的で潤いのあるまちの実現に寄与している。	A		○		
★ 73	4 丘陵地区整備課	第1回竹まつり	III-3	III-5							地域資源である「竹」をひとつの財産として考え、産官学民連携し地域主体で、継続的なイベント(竹資源の活用や循環を発信)を目指し、岸和田市の魅力をゆめみヶ丘岸和田から発信する。	広報活動の強化継続して実施するための運営体制構築	継続してイベントを実施することにより、岸和田の自然を広くPRする。								ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	6,000		イベント準備の段階から取組みに関心のある人と繋がることができ、岸和田の魅力を広く伝えることは一定の効果があった。今後は自立した運営体制の構築が必要。	A		○				

III-5. イベントを活用した魅力あるまちづくり

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続
															創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)						
★ 74	4 企画課	市制施行100周年記念事業	III-5								令和4年度は、基本方針に基づき、様々な主体(市・市民・団体・企業等)が100周年記念事業(市主催事業、協賛事業、市民冠事業)が実施されるとともに、実行委員会として「岸和田EXPO～未来への想い TAKEAKARI～」や「キッチンカーマルシェ賑わい創出事業～きしめしぐらふ～」などを実施した。	・市民等への広報プロモーション・他課や民間事業者等の事業・イベントと内容や日程が重複するものがいくつかあったため、事前の連携・調整をより丁寧に行う必要がある。	令和4年度で事業期間を満了したが、事業の成果物や市制施行の周年事業運営のノウハウ等について、広く周知していく。	○	○	○	○	○	○	○	○		岸和田市市制施行100周年記念事業実行委員会	45,889	1,828	関係各課、市民、団体、企業と連携し、多種多様な事業展開を実現できた。一方で、市制施行100周年の機運醸成や事業プロモーションについては課題が残った。	A		○		
75	4 都市計画課	街まちづくり支援事業	III-5				○				日常生活の中で誰もが利用する「駅」周辺を、地域住民を含めた関係者(鉄道・バス事業者、商店街、学校等)と行政が協働して「美しく個性がきらめき、魅力ある空間に再生」し、まちの活性化につなげていくプロジェクトを実施している。4月に参加者の方に、「ハンギングバスケット花苗配布」を行い、5月に「ガーデニングショー」でそれぞれが育てた作品を展示し、駅周辺の活性化をした。	地域住民の参加者の高齢化が進んでおり、世代交代を進める必要がある。また、運営資金が減少してきている。	地域住民へのPRをより行い、参加者の世代交代を進める。市民団体等と運営資金等についても話し合いながら、地域住民の交流の促進や、駅周辺の活性化を進めていく。	○	○	○	○	○	○	東岸和田市民センター	100		活動に地域住民を含めた関係者が関わることで、交流促進につながり、顔の見える関係性の構築につながっている。また、小中学生連の文化事業の充実にも寄与している。ガーデニングショーは、駅周辺の活性化に寄与し、周辺住民に幅広く認知されており、毎年楽しみにしているという声も多い。	A		○					
76	4 企画課	中心市街地活性化事業	III-5								岸和田市中心市街地活性化基本計画に沿って、各種事業を推進している岸和田TMO(商業まちづくり機構)、商工会議所等との共同事業として開催するイベントへの参画。	岸和田TMOとの関わり方や、部会事務局としての役割について整理が必要。	関係各課と連携し、中心市街地の活性化が図れるよう支援していく。	○	○	○	○	○	○	産業政策課・都市計画課	岸和田TMO、岸和田商工会議所	0 (TMO支援事業として産業政策課の支援有)		各種事業について、庁内関係部局と連携しているところではあるが、より効果的な取組を実施するため、更なる連携強化が必要。	A		○				
★ 77	4 広報広聴課	シティセールス推進事業	III-5								SNSを活用した市の魅力発信を目的として、市内外問わずインスタグラムユーザーを対象にインスタグラム上で「第5回きしわだフォトコンテスト」を実施。応募件数633件。また、普段からインスタグラムや市HPなどを利用していない方にも、コンテストの入選作品を見て岸和田市の魅力を知っていただくため、第1回～第4回のきしわだフォトコンテストの入選作品の巡回展示を行った。	岸和田市のファンの方が、写真以外の方法でも岸和田市の魅力を発信できる仕組みが必要。	岸和田市のファンの方が、岸和田の魅力を発信できる新たな仕組みを創出していく。	○	○	○	○	○	○			92		計画どおりに事業を行うことができた。また、巡回展示を行ったことにより、普段からインスタグラムや市HPなどを利用していない方にもきしわだの魅力を知っていただくことができた。	A		○				
★ 78	4 広報広聴課	子どもたちと作る「岸和田市の魅力ガイドブック」	III-5				○				岸和田市の魅力を伝えるガイドブックを制作した。制作にあたり、岸和田市在住の小学3～6年生を対象に、写真撮影に関するワークショップの開催。参加者が撮影し取り集めたものを印刷し、イラストや文字を書き、素材を作成。作成した素材はガイドブックに掲載。	時間が経過すると、掲載内容の更新が必要になる。	作成したガイドブックを活用し、市内外の方に岸和田市の魅力を知っていただく。	○	○	○	○	○			2,970		計画通りに事業を行うことができた。また、子どもたちと一緒に制作することによりシビックプライドの醸成につながった。	A	○						
79	4 自治振興課	市民活動団体支援事業	III-5				○				市民フェスティバル中央公園にて開催。参加団体に模擬店、展示、フリーマーケット、地場産業振興等の場を提供し、岸和田市民相互のふれあいの場とし、市民参加の祭りの場として豊かで暮らし良い町づくりに寄与し、地場産業振興に貢献することを目的とする。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。	事業を運営している実行委員会メンバーの高齢化が進み、担い手の育成が必要。	事業の内容を工夫や充実させ、市民フェスティバルの活性化を図る。	○	○	○	○	○		岸和田市民フェスティバル実行委員会	1,700		事業の運営、及び活動に対して補助金交付を行っているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。			○					
80	4 農林水産課	農業振興事業 農業まつり	III-5				○				市民の農業に対する理解や認識を深め、農業振興に資するため農業まつりを開催する。農業者の表彰、展示即売会、試食会、ステージ企画等を行い、農産物等の紹介、農林業の啓発と都市住民との交流等の機会の提供。入場者数は約8,000人。令和4年度はコロナ禍のため野菜・果樹等の販売のみを実施する農産物フェアとして実施した。	ステージ参加者や入場者のための駐車スペースが確保できない。参加団体には相乗りするなどの協力を依頼しているが、徹底されていない。	企画内容の工夫などをしていき、農業まつりの活性化を図る。	○	○	○	○	○	○	農協の広報紙	JAIずみの・大阪府・農業委員会・農業研究クラブ協議会・果樹振興会・林業活性化協議会他17団体	925	1,075	岸和田市において農業は主要な産業のひとつであり、その振興は今後も重要である。参加団体の意欲を高め、より協働できる仕組みづくりが必要。	A		○				

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)		
81	4 農林水産課	農業振興事業 農業体験	III-5			○	○		○	市民参加によるじゃがいも(34組)、サツマイモ(35組)の収穫体験	申し込みが多く抽選が必要	事業の内容を工夫し、参加者の拡充を図る。															500		参加者の満足度が高い。	A		○	
★ 82	4 産業政策課	港振興協会助成事業 (港まつり)	III-5						○	本市臨海部周辺地域の活性化や港湾の振興を図るため、「みなとオアシス岸和田」の構成施設等(アクアパーク等)においてイベントを開催し、臨海部への集客促進と認知度の向上を図った。 ■来場者数 2,500人(各コンテンツの利用者実績からの見込み数) ①ふれあい動物園 450名 ②レジャーシート配布数 600枚 ※2名に1枚配布 ③シティサップ 165名 ④無料シャトル船 1,733名	花火に代わる新しい港まつりの検討	令和5年度は、岸和田港振興協会70周年記念事業で実施した「乗船体験事業」の実施を予定																6,000		岸和田旧港緑地(アクアパーク)を中心に、「みなとオアシス岸和田」の構成施設の魅力が伝わるイベントの開催により、臨海部への集客促進と認知度の向上につながった。	A		○
★ 83	4 観光課	観光振興事業	III-5						○	城下町泊の機運醸成のための多聞櫓・隅櫓及び五風荘での宿泊体験の実証実験や、犬走公開、大阪城・尼崎城との連携など、岸和田城を中心に賑わいを創出する取り組みを実施した。	魅力ある地域資源の利活用が不十分である。プロモーションをはじめとする効果的・効率的な情報発信が出来ていない。	平成28年度に策定した「第2次岸和田市観光振興計画」に基づき事業を推進していく。令和5年度に「(仮)第3次岸和田市観光振興計画」を策定予定。	○	○	○	○												25,798		新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたこと、今ある魅力を活かすため情報発信の強化に取り組み、観光客数を増加させる必要がある。	B		○
★ 84	4 水とみどり課	ばらサミットinきしわだ2022	III-5	II-6	II-1				○	ばら制定都市会議式典(加盟都市首長らによる意見交換等)、記念植樹、ミニコンサート、コンテスト作品表彰、加盟都市及び泉州近隣都市による賑わいイベント等の事業を実施した。	日常業務に遅れが出たり、職員の時間外勤務が大幅に増加してしまったこと。	引き続き、加盟都市間での意見交換及び情報共有を通して、花と緑にあふれた魅力あるまちづくりを目指していく。	○	○	○	○												8,137		様々な事業を通して、幅広い年代の市民に、植物や文化の魅力に触れる機会を提供することができた。	A	○	

Ⅲ-6. 伝統工芸品の価値発信、新産業の創出

年度	担当課	事業名	《基本目標・各方向性》			0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	実施内容	課題	今後のビジョン	文化活動の形態					広報活動の媒体				協働した団体		事業費(千円)	予算未執行額(千円)	自己評価	自己評価	新規	継続			
														創造	発表	鑑賞	参加	その他	広報きしわだ・市HP	その他のHP・SNSなど	地域情報紙	ちらし・ポスター類	その他	市(担当課以外の課名)							他団体(団体名等)		
85	4 産業政策課	岸和田ブランド事業	III-6						○	岸和田らしさを備えた優れた産品を岸和田ブランドとして認定し、情報発信や販売促進を推進することで岸和田市の知名度向上を図っている。令和4年度は、14品目の再認定を行った。各種イベントにおいて岸和田ブランドのブースを出展し、PRを図った。	製品の研究開発及び販売促進	岸和田ブランドのさらなる認知度向上のために施策を展開していく。																1,873		岸和田ブランドの認知度のさらなる向上のため、新しい生活様式を意識しながら、多くの人の目に触れるように展示の拡充や各種イベント出展を行っている。	A		○

